

徒然想

早いもので今年もあと僅か。毎年の事ですが、師走の慌ただしさについて口にしてしまいます。ところで、今年は「ムーミン」シリーズの原作者としても知られるトーベ・ヤンソンの生誕 100 周年でもありました。フィンランドを代表する画家であり小説家である彼女は、作中のキャラクターを通じて平和への願いや、様々な深いメッセージを残してくれています。特にスナフキンの言葉には、大人になった今だからこそ響いてくるものが多く感じられます。子供のころムーミンをご覧になったこともあるかもしれませんが、年末年始の休みに改めて小説など手に取ってみるのもおすすめです。

TECHNICAL TOPICS 今月の技術情報

ながさき建設技術フェア 2014 に出展

今回は、長崎県で行われました「ながさき建設技術フェア 2014」の紹介です。弊社はこれまでも、さまざま大学と共同研究開発を行って参りました。その成果の中に「棒形スキャナ」「ラインスキャナ」があります。先月実施されたこの建設技術フェアは、「つながる、未来へ。明日を守る維持管理」をキャッチフレーズに9つの出展テーマに、最新の建設技術が展示紹介されました。その中で、長崎大学(大学院工学研究科インフラ長寿寿命センター)と佐賀大学(大学院 工学系研究科 都市工学専攻 伊藤幸広教授)が合同でブース出展を行ったものです。なお、当該技術の詳細は、弊社HPをご覧ください。

- 棒形スキャナ http://www.krcnet.co.jp/tech/tech_SS01.html
- ラインスキャナ (スリット応力解放法) http://www.krcnet.co.jp/tech/tech_slit01.html

以下、ブース出展を行った長崎大学大学院工学研究科の出水享様の報告をご紹介します。

ながさき建設技術フェア 2014 に出展 「報告：長崎大学大学院工学研究科 出水享様」

11月6～7日、長崎県立総合体育館メインアリーナで開催された長崎県建設技術研究センター主催の「ながさき建設フェア 2014」に佐賀大学伊藤研究室と合同で出展いたしました。84ものブースが出展する中、当センターは「道守養成プロジェクト」「端島遺構記録調査」、佐賀大学伊藤研究室・(株)計測リサーチコンサルタントなどと合同で、コンクリート内部を検査する「棒形スキャナ」、物体表面の変形・ひずみを計測する「ラインセンサスキャナタイプ全視野ひずみ計測装置」、PC 構造物の現有作用応力を高精度に測定できる「スリット応力解放法」などを出展しました。

天候にも恵まれ、会場には1904名もの建設関連の方々や一般の方、土木を学ばれている高校生・大学生が訪れ、当ブースにも多くの方々足が止め、賑やかな二日間となりました。ここから生まれたご縁でまた新たなプロジェクトが始まる事を願っております。



技術フェア会場



当センターのブース



出展内容を紹介中

「ながさき建設技術フェア 2014」 <http://www.nerc.or.jp/section.html?s=1&d=data/fair/&f=index.html>

(株)計測リサーチコンサルタントへのお問い合わせ先 Eメール: krc@krcnet.co.jp HP: <http://www.krcnet.co.jp>